

～ おいしんぼ・くいしんぼ ^{ぎょぎょ} 魚魚！ ^う 海めじゃ～展 ～ 展示予定魚種

別紙

魚種名	特徴	展示個体数
ヘリゴイシウツボ 	・学名: <i>Gymnothorax fimbriatus</i> ウナギ目ウツボ科 大きさ約40cm ・分布: 高知県以南。インド・太平洋域。サンゴ礁域の浅所、礁湖内 ・ニセゴイシウツボに似ますが、斑紋が不規則でまろくないこと、吻がややとがり、頭部に大きな斑紋がないことで区別できるとされます。歯は鋭く、口で加えたエサを喉の奥にある咽頭顎(いんとうがく)という第二の顎で引きずり込み、真っ二つにして飲み込む。	1
レッドコロソマ 	・学名: <i>Colossoma macropomum</i> カラシン目セルサラムス科 大きさ25cm ・分布: アマゾン・オリノコ川水系に分布するが、南米の他の地域でも食用として養殖されている。 ・最大で全長 108 cm、40 kg に達し、幼魚はピラニアに似ています。これは、ピラニアが共食いを避ける性質を利用し、ピラニアから襲われないためであると考えられています。肉食性ではなく植物質を主体とした雑食性で、浸水林の水面に落下する樹木の種子などをパンチのような歯で割って食べています。そのため、カボチャなどを細かく切った物を食べる事が出来るのです。	1
イシダイ 	・学名: <i>Oplegnathus fasciatus</i> スズキ目イシダイ科 大きさ15～20cm ・分布: 北海道以南の日本各地、朝鮮半島南部、台湾。特に西日本沿岸で個体数が多い。 ・口は上下の顎ごとに歯が融合し、頑丈なくちばしのような形状になっています。体色は白地に黒色の7本の太い横縞が入ります。肉食性で、くちばし状の顎で甲殻類、貝類、ウニ類などを捕食し、ガンガゼが大好物なことで知られます。	3
カエルアンコウ 	・学名: <i>Antennarius striatus</i> アンコウ目カエルアンコウ科 体長 約10cm ・分布: 太平洋・大西洋・インド洋の温帯・熱帯域の沿岸部 ・周りの環境に合わせて、体を黄色、茶色、緑色などたくさんの変えることが出来ます。そうして姿を隠し、頭にある疑似餌で小魚を誘い捕食します。泳ぎは苦手で、お腹のヒレで海底を歩くように移動します。	2

魚種	特徴	展示個体数
アカハチハゼ 	・学名: <i>Valenciennea strigata</i> スズキ目ハゼ科 大きさ約5cm ・分布: インド洋～中部・西部太平洋 ・頭が鮮やかな黄色で、眼の下に青色の帯がある美しいハゼの仲間。名前のアカハチが何を意味しているのかは今のところ不明のようです。ペアで見つかることが多く、砂を口に入れて、砂の中の微生物などを食べます。	4
テッポウウオ (アーチャーフィッシュ) 	・学名: <i>Toxotes jaculatrix</i> スズキ目テッポウウオ科 大きさ7～10cm ・分布: スリランカ・インド東部・オーストラリア北部・ポリネシアまで含む東南アジアの熱帯域 ・口に含んだ水を発射して、水面上の葉に止まった昆虫などを撃ち落とし、捕食する行動がよく知られており、和名「鉄砲魚」はここに由来します。なんと1m 以上も水を飛ばすことができます。また、水面近くの獲物はジャンプして捕食することもあります。水面を隔てると屈折が起こり、実際の位置からずれて見えますが、テッポウウオ類は屈折を計算して水の噴射やジャンプができるのです。	4
デンキウナギ 	・学名: <i>Electrophorus electricus</i> デンキウナギ目デンキウナギ科 大きさ約35cm ・分布: アマゾン川、オリノコ川 ・夜行性で、空気呼吸を行います。視力は弱いですが、その代わりに電気を使って身の回りを探ります。食性は肉食で、魚類、カエル、小型の哺乳類、昆虫などを食べます。最大 860 ボルトにもなる強力な電気を発生させて獲物を気絶させて狩りを行う電気魚。	1
マガキガイ 	・学名: <i>Strombus luhuanus</i> 盤足目・スイショウガイ科 大きさ約4cm ・分布: 西太平洋にかけての熱帯・亜熱帯海域 ・貝殻表面の模様や色が、竹などで目を粗く編んだ垣根「まがき(籬)」に似ていることが名前の由来とされます。藻食性であり、ゾウの鼻のような長い口吻を動かして、岩場や海底に付着する細かい藻類を摂食します。	10

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。

8種類 約26匹